

施設栽培ピワ「福原早生」の紫斑症発生防止対策

[要約] 袋内への透過光線量の少ない果実袋を使用することで、「福原早生」の紫斑症の発生は抑制される。

長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
----------------	----	----	----	-----	----	----

平成8年度長崎県果樹試験場業務報告

[背景・ねらい]

施設栽培の「福原早生」で、果実袋内部への透過光線量の少ない果実袋を用い、紫斑症の発生防止効果を検討する。

[成果の内容・特徴]

- ①紫斑症は透過光線量の少ないクロF77・トリカ・新聞二重・モギ緑T237袋区で発生がなく、透過光線量の多いクラフト袋区で発生が多い（表1）。
- ②袋の種類によって果実内容及び果皮色に差はみられない（表1）。
- ③果実袋別の収穫時期はモギ緑T237・クラフト袋区が他の袋に比べ早く、トリカ(内黒)袋区はやや遅れる傾向がみられる（図1）。
- ④晴天日の昼間におけるクロ F77・トリカ・新聞二重袋区の袋内部の温度は、ハウス内気温に比べ1～2℃高い程度であるが、モギ緑T237袋区では4℃高く推移している（図2）。

[成果の活用面・留意点]

施設内部の環境が急激に変化しないように、生育状況に応じた適正な温度管理、土壌水分管理によって品質向上を図る。

[具体的データ]

表1 袋の種類と果実障害発生率及び果実形質

処 理	紫斑症 (%)	リハカス症 (%)	裂果 (%)	縦径 (mm)	横径 (mm)	果実重 (g)	糖度	リンゴ酸 (g/100ml)	硬度	a/b値
クロF77	0.0	32.6	30.8	55.2	49.5	71.4	10.4	0.290	345.1	0.27
モギ緑T237	0.0	30.6	38.4	54.5	49.5	73.1	10.4	0.303	330.4	0.26
新聞二重	0.0	32.0	35.6	55.0	49.9	73.9	10.7	0.267	325.8	0.27
トリカ	0.0	26.8	29.2	54.3	49.6	72.1	10.4	0.267	342.8	0.26
クラフト	26.2	35.0	20.4	51.8	47.6	59.3	11.8	0.284	329.8	0.27

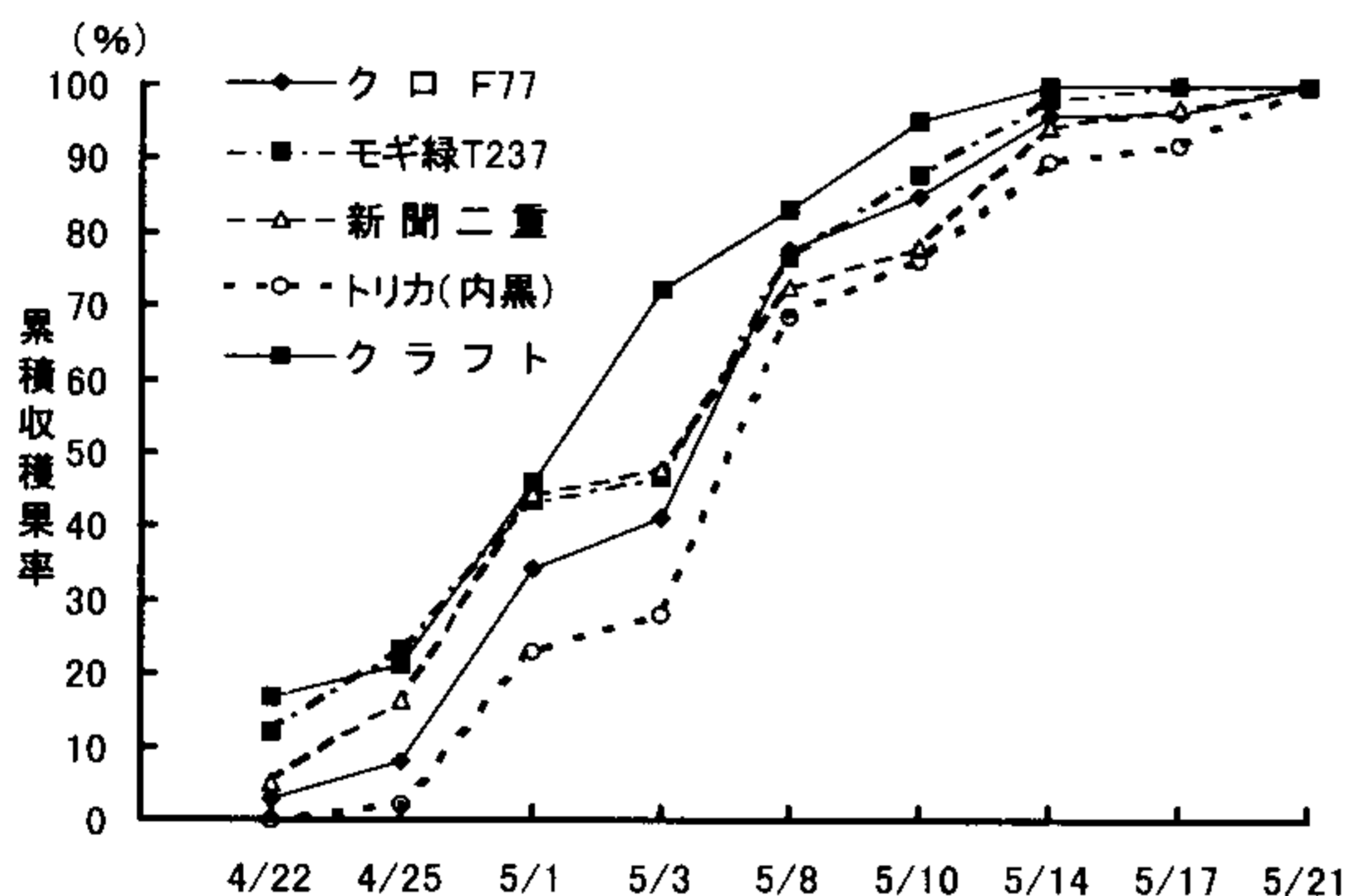


図1 果実袋別累積収穫果率

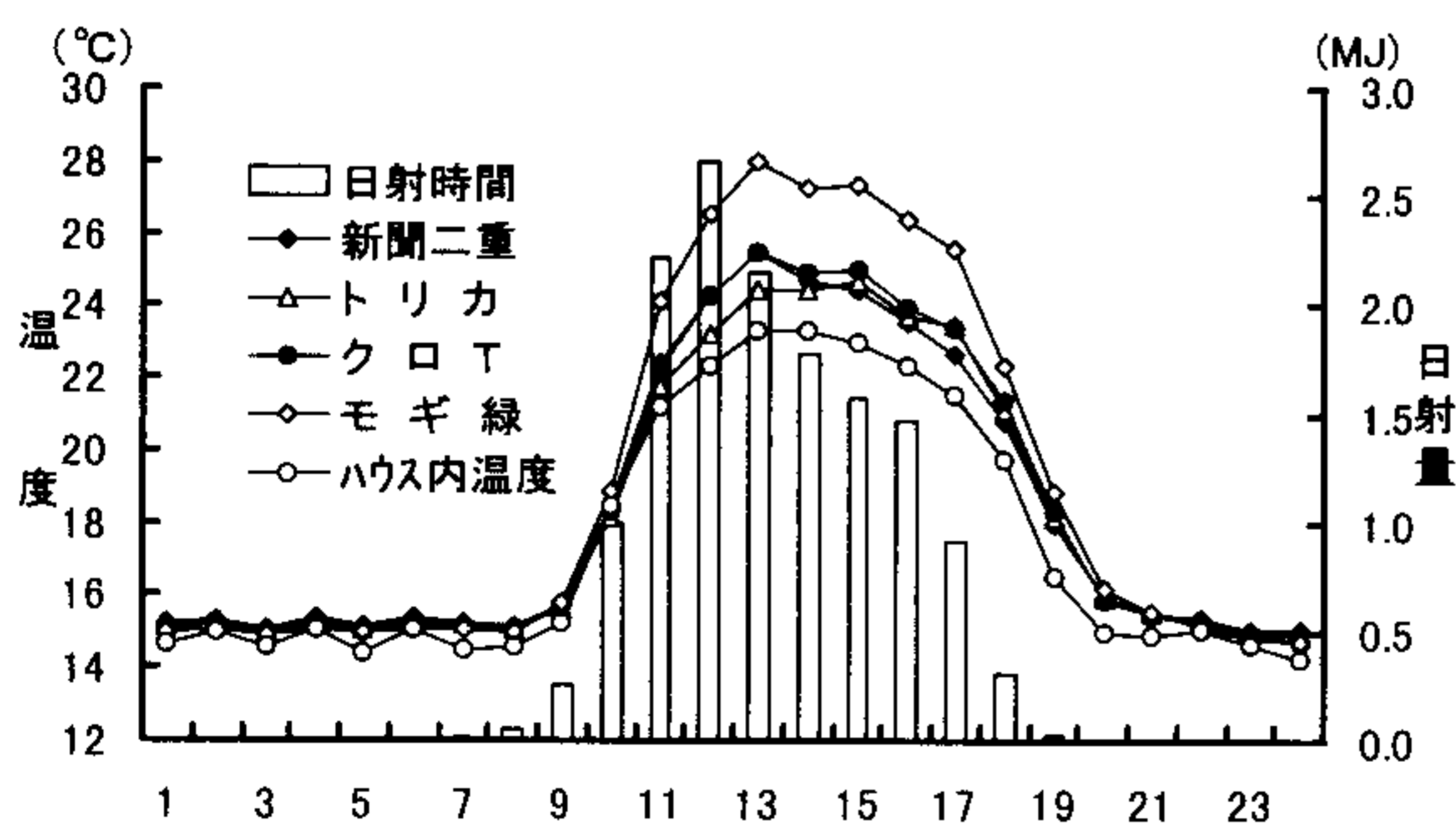


図2 晴天日におけるハウス内温度と果実袋内温度

[その他]

研究課題名：施設栽培長崎甘香「福原早生」ビワの果実障害の防止と安定多収技術の確立
 予算区分：県単
 研究期間：平成8年度（平成7年～9年）
 研究担当者：松浦 正，今村俊清
 発表論文等：平成8年度 長崎県果樹試験場業務報告。